

Living, Making for _____ リビング、メイキング _____ ために #2

人の営みの根源を知る 新しい滞在型アートスクール

2018年10月5日(金) — 14日(日)

コア期間

10月6日(土) - 8日(月・祝) / 13日(土) - 14日(日)

会場=旧横田医院(鳥取市栄町403)、ことめや(鳥取市瓦町527)、トウフビル3F、湖山池ベースほか

本講座は、「living／暮らす」と「making／つくる」という人の営みのもっとも根源的な行為をキーワードに、フィールドワークやワークショップといった実践を通して、体験し、思考を深め、新たな知を獲得するプログラムです。「すべての人が芸術家である」と言ったヨゼフ・ボイスは、人間の営為が社会をつくりあげていることを「アート」として提示しましたが、それは個人個人の営みの中にある創造性によって支えられてこそ可能となるものです。この創造性は、さまざまな未知の経験を乗り越えることで人々が得た洞察力や直感力、想像力といったものの総合として、日常生活のあらゆる場面において発揮されています。

この学校では、アーティストとともに既にあるものや普段の生活・日常を見つめ直し、創造性の在処を見つけ、それを自らの内に育む力を身につけることを目標としています。第二回目となる今回は、何かしらの理由で(または理由もなしに)興味を持ったことや、自分の感覚、同様に講師・他の参加者のそれとも向き合い、思考のプロセスを丁寧に辿りながら、それを他者に伝え、共有することの可能性について考える機会としたいと思います。

それぞれの個人が、新しい足場から眺望し、世界と向き合いながら _____ ために、共に学ぶ機会としたいと思います。



主催 | 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
企画運営 | School in Progress 実行委員会 (鳥取藝住実行委員会 + HOSPITALE)

平成30年度文化庁 大学における文化芸術推進事業 地域資源を顕在化させるアートマネジメント人材育成事業



大学から
文化力
POWER OF
CULTURE

申込問合せ先 | School in Progress 実行委員会 (鳥取市瓦町527 ことめや内) school.in.progress@gmail.com

人の営みの根源を知る 新しい滞在型アートスクール

statement

「何されてるんですか？」と質問されて、スパッと答えられることも、よもや理解されることなんてほぼない。アーティストなんです、という絵かきか歌手ということになる。いやそうではなくて…と実際にやっていることを言うと、やや戸惑った感じで「はあ」か「へえ」が関の山。もどかしい。この前なんて、整備不良で警察にとめられパトカーの中で「ご職業は？」と聞かれた。「個人事業主です」「業種は？」「アート…現代アート？」「いや、そういうのじゃ書けないんで」「え？書けない？あ…映像とか作りますけど」「じゃあ映像制作業って書いときます」となる。そうなの？俺のやってること映像制作業なの？そんなコンテクストを理解していただければ、先日思い切って言ってみたこの言葉も紹介のしがいがあるかもしれません。「mamoru くんってアーティストなんでしょ？普段なにやってるの？」「そうですね～、ただ生きてるっていう時間が結構ありますよ」「言ってみたいわそんなセリフ！」「そう言ってくれると（え、この人…通じた？）なんか嬉しいな。」あなたは普段何されてるんですか？

m a m o r u サウンド・アーティスト | SCHOOL IN PROGRESS 共同ディレクター

僕らは知らない間にそれぞれの体を持って生まれてきて、いつの間にか始まったそれぞれの物語を生きている。今僕らが思いつくおよそ全ての出来事を、世界のどこかで今まさに実際に経験している人がいると想像してみよう。

周囲のやり方を真似てみたり、自分のこだわりを通してみたり、他からの評価に目配せしたり、目の前の状況を乗り切ることに集中していたり、あるいはもうすぐ寝そうだったり。それぞれが何かを感じ、考え、行動している。目の前で起きた理不尽な出来事に我を忘れて立ち向かう瞬間なのかもしれないし、友達の家でゲームをしている時に結果が悪くて隠していたはずのテストの答案用紙をなぜか家の机の上に出しっぱなしにしてあることを思い出した子がいるかもしれない。

今現在、世界中に暮らしている全員が、それぞれの方法で自分の周りの世界と向き合っている。

あなたも私もこれまでそのようにしてこれまで生きてきたし、今現在も生きている。私たちは世界中の全員に出会うことはできないが、可能な限り彼らの営みを想像することを止めてはいけな

さて、今回のスクールは、そんな私たちの「これまで」を持ち寄って、数日間「今」を共有する中で新しい物語を始めるきっかけとするべくプログラムを組んでいます。私自身もみなさんとお会いできることを楽しみにしています。

山本高之 ビジュアル・アーティスト | SCHOOL IN PROGRESS 共同ディレクター

schedule

Date	AM(9:00-12:00)	PM(13:00-15:00)	PM(15:00-17:00)	Night time (19:30-22:30)
10/5(金)				Orientation/Welcome Party ウェルカムパーティー
10/6(土)	Sharing & Discussion 想像と現実、自己紹介をかねて	mamoru Practice 風を知るために:空山フィールドワーク		Night Program 01 Screening シークレット・スクリーニング01
10/7(日)	山本高之 Practice The most funniest jokes		特別講師によるLecture	Night Program 02 Screening シークレット・スクリーニング02
10/8(月・祝)	Research/Practice PR(Public Relational)についてのリサーチ・バス・ツアー 人形峠PRセンター(岡山県)・三朝温泉等			Night Program 03 Directors' Talk 前半まとめ・課題発表
10/9(火)	Optional Class mamoru 呼吸とストレッチのワークショップ	Tutorial Class mamoru & 山本高之 チュートリアル・フィールドワーク		Art Salon 01 赤井あずみ アートサロンのつくりかた
10/10(水)	Optional Class mamoru 呼吸とストレッチのワークショップ	Tutorial Class mamoru & 山本高之 チュートリアル・フィールドワーク		Art Salon 02 特別講師 夜学 芸術と労働(仮)
10/11(木)	Optional Class mamoru 呼吸とストレッチのワークショップ	Optional Class mamoru & 山本高之 フェスの実験(湖山池ベース)		Art Salon 03 Camp fire キャンプファイヤー(湖山池泊)
10/12(金)		Optional Class mamoru & 山本高之 チュートリアル・フィールドワーク		Art Salon 04 Guest Talk フライデー・ナイト
10/13(土)	Presentation & Sharing 課題のプレゼンテーション	Session 01 「Living/暮らす」についての ディスカッション	Session 02 「Making/つくる」についての ディスカッション	Night Program 04 ラジオの時間 講師3名による鼎 談
10/14(日)	発表会準備	Public Program 受講者による発表会	Round Table ラウンド・テーブル	Closing Party クロージング・パーティー

想像と現実、自己紹介をかねて

ちょっとしたゲームを通じて想像力を言語化しつつ自己紹介もやっつけてしまえたらと思います。

風を知るために

古今東西、詩的にまたは神話的に扱われることもある風は、実のところ天体レベルで地球規模の話だったりするし、歴史を動かしたこともある。壮大なテーマではあるが身近な存在・現象でもある風を知るために文献を漁り、専門家に話を聞き、ヨットに乗り、パラグライダーで飛び、サーフィンで波と戯れ…。風観察をしたり、風を知る人の話を聞いてみたいと思います。

The most funniest jokes

今までで一番面白かったことってどんなことですか？

ここでは私たちそれぞれの「面白いと思うこと」について掘り下げていきます。

PR (Public Relational) についてのリサーチ・バス・ツアー

人形峠PRセンターに掲げられた古い看板には「教育館」と記載されています。ここでは何を「学ぶ」ことができるでしょうか。

シークレット・スクリーニング

講師が厳選したスペシャルな映像を上映し、それについてディスカッションします。

呼吸のワークショップ

むかしむかしボイストレーニングの授業で習ったとある呼吸法。気がつけばもう20年は続けている。今では一息いれれば体調がわかる(と思っている)。メディテーションの効果については諸研究あるのでそれらを参考に。まさに for living?

ストレッチのワークショップ

アーティストは基本的に旅生活でパフォーマンスする事もあったり、体のメンテナンスには人一倍気を使う。身体表現者の友人の推薦するストレッチを(YouTubeで覚えて)やっていると、行く先々で「なにそれ?」と聞かれ、時々流れて教えたりする。割と好評。今回はこれを講座にしてみます。何よりも朝から気持ちよく動くために。

チュートリアル/フィールドワーク

濃密な前半で何かがきつと動き出す(と良いよね)。それぞれにきつと課題を見つけているだろう(か?)。鳥取に来たらあそこに行かないと、そんなことやあんなことを想定しているうちに、講座とは違う少し自由な時間も必要かもしれない、場合によっては助けが必要なこともあるだろう。参加者や(講師陣の!?)興味がさらに掘り下げられ in Progress していくために。

フェスの実験

合宿後半へ差し掛かるこのタイミング。湖山池でチルアウト。

集中実践ゼミ (10/5 - 14 | 9泊10日)

30,000円 (仮) | 全てのプログラムに参加可能

会場間の移動費、宿泊費 (ドミトリー 9泊分)、教材費含む | 食事代、自宅から会場の交通費は各自負担

フィールドワークやディスカッション、ワークショップなど、アーティストとともに行動・実践するプログラムです。作品が生まれるまでのプロセスや、それを支えるコンセプト、ものの見方といった、普段はめったに見たり聞いたりすることのできない「創造のひみつ」に迫るまたとないチャンスです。滞在しながら日頃の疑問を共有したり、思考を深めたり……とじっくりアート／アーティストと向き合いたい方におすすめします。特別なアートや美術史等の知識は必要ありませんが、何事にも興味を持つ好奇心と行動力・エネルギーのある方、アートに心から感動した経験のある方のご応募をお待ちしています。

定員 20名 先着順	対象	アートに興味のある方 若手アーティスト・若手キュレーター・クリティック等
	形式	フィールドワーク・ディスカッション・ワークショップ等

受講申込／問い合わせ

mail arts.school.in.progress@gmail.com

下記内容を記入の上、E-mailにてお申し込みください

名前／年齢／住所／電話番号／E-mail／職業

「今何かやろうと考えていることはありますか？」と聞かれて、書いてみようと思うこと (1000文字以内を目安に記述)

*基本的に全日程に参加できる方を参加条件としますが、個別に相談に応じます。

*お申し込みの受付完了のお知らせとともに、プログラムやレジデンス施設の詳細についての情報をお伝えします。

*ドミトリーの宿泊をご希望されない場合 (ご自身でホテル等宿泊場所を確保される場合) は、個別にお知らせください。

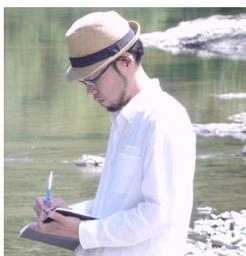
共同ディレクター

山本高之 Takayuki Yamamoto



1974年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院修士後渡英、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインMA修了。小学校教諭としての経験から「教育」を中心テーマのひとつとし、子どものワークショップをベースに会話や遊びに潜む創造的な感性を通じて、普段は意識されることのない制度や慣習などの特殊性や、個人と社会の関係性を描く。近年は地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトに多く取り組んでいる。主な展覧会に「Go Between 展 子どもを通して見る世界」(2014-2015 森美術館ほか)、コチ=ムジリス・ピエンナーレ (インド、2016)、Asian Art Award 2017 (寺田倉庫アートスペース、2017) など。近著に『芸術と労働』(共著、白川昌生+杉田淳編、水声社、2018)。

mamoru



1977年大阪生まれ。2016年ハーグ王立芸術アカデミー／王立音楽院 (オランダ) アーティスト・リサーチ修了。様々なリサーチ手法と想像力によって過去、現在、未来／架空の音風景を書き起こし、「あり得た(る)歴史」などを題材にした作品を制作。また身近な物や行為から生まれる微かな音をとりあげた「日常のための練習曲」など、「聴くこと」から世界を知る方法を探求。レクチャー・パフォーマンス、映像、テキスト、サウンド作品を国内外の美術館・ギャラリーで発表。2014年より「旅するリサーチ・ラボラトリー」(共同企画監修：下道基行)、「知るのつくりかた」などのプロジェクトのディレクションも行う。最近の展示に「他人の時間」(東京都現代美術館、2015)、「DOMANI-明日」展 (国立新美術館、2018)、第10回恵比寿映像祭 (東京都写真美術館、2018) など。